皆様

平成 25 年 12 月 7 日

本日はタクロバンから東に向かい、レイテ湾の西部の調査をしました。我々の調査は道路局 (DPWH) と連携しているため、役所の人が 1 人同行してくれるため、道路についてはどこでも通れるので、大変に助かります。

高潮の場合はいつもそうなのですが、津波と異なり、大雨のためにウォーターマークが残りにくくなります。このため、住民の方の目撃証言に頼ることが多いのですが、この場合、伝聞でなく、本人の経験であることを確かめたり、時間がかかることが多く、結果としてデータの数が少なくなります。

Sant Nino

浸水高

2.74m (住家 1 階部分) N11°07.760' E125°31.054'

遡上高

2.20m (道路の電柱) N11°07.730' E125°31.022'

Giporlos

浸水高

3.88m (塩水のたまった 2 階の床) N11°05.277' E125°30.723'

2.72m (道路を歩いた時の水深) N11°05.269' E125°30.723'

2.86m (海岸から離れた家の中) N11°05.277' E125°4.30.649'

サマール島からレイ島に戻る橋の起点の下

3.89m (民家) N11°18.582' E124°58.447'

4.58m (橋脚) N11°18.592' E124°58.423'

柴山知也 (調査隊長)